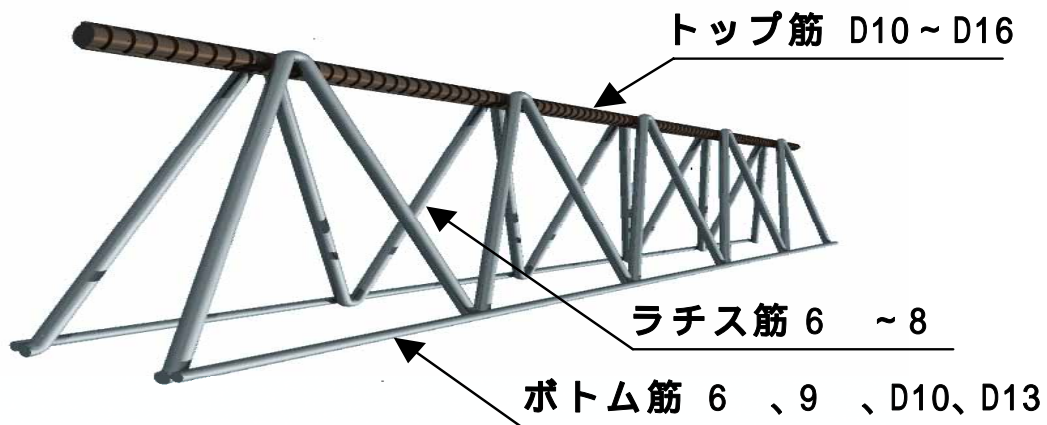


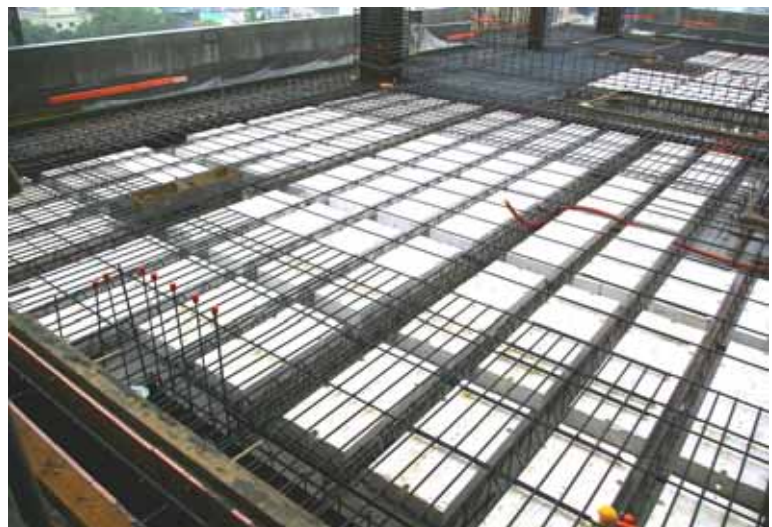
# 現場スラブ配筋量の大幅な削減が可能

## カイザーDトラス



トップ筋に異形鉄筋を使用した「カイザーDトラス」は、トップ筋を構造筋として扱えます。(日本建築センター一般評定)

スラブの現場上端配筋の一部を「カイザーDトラス」に置き替えることで、通常の配筋方法に比べ、スラブの現場上端配筋量を30~40%削減し、合理性と経済性を実現します。



ボイドスラブでのカイザーDトラス使用例  
(現場スラブ配筋の完了状況)

カイザーDトラスを使用して現場鉄筋量の削減をご検討される場合は、日本カイザー(株)までお問い合わせ下さい。

(TEL 03 - 3498 - 0650)